

第 89 回 CSR-BOP ウォッチの会合

『やらないリスクからやるリスクへ!!
～障がいと Positive に向き合うアイテム
【足こぎ車いす】 JICA 草の根技術協力事業の現場から～』

鈴木 堅之 (すずき けんじ)
(株)TESS
代表取締役

2015 年 12 月 9 日 (水) 19:00 - 21:00

場所：経済産業省本館 1 3 階西 8 会議室 (定員 30 名程度)

(地下鉄霞ヶ関、虎ノ門、内幸町)

〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1

経済産業省への地図 http://www.meti.go.jp/intro/index_access.html

〔講演内容〕

人間の反射を活用した歩行支援機器「足こぎ車いす」を活用した新しいリハビリテーションモデルが「患者主体の新しいリハビリテーションモデル」として、ベトナムの各地方省レベルの病院およびベトナム国内全土に普及することを目標とした活動の経緯を動画・スライドでご紹介させていただきます。

平均年齢 28.2 歳という活気ある国、ベトナムでの医療と福祉を繋ぐ人材育成の可能性に希望を感じていただける内容です。(BOP 草の根技術協力をおして)

TESS Inc. is the Minister-of-Economy-Trade-and-Industry-Award winner at the Japan Venture Awards 2014 for its new rehabilitation model and newly-developed walking-support-equipment. Its new model, “New Rehabilitation Model based on Patients’ Initiative,” focuses on patients’ self-initiated mobility by riding a “self-pedaling-powered chair cycle” which makes use of human reflex. The company started making a BOP initiative supported by JICA to promote the use of the equipment in hospitals in Vietnam and all over the country, hoping to develop a locally-suitable rehabilitation model as well as to nurture a significant number of human resources who link medical care and public welfare in this young and lively nation with the average age of 28.2.

[講師略歴]

鈴木 堅之

1974年、静岡県伊豆市に生まれる。1996年、盛岡大学文学部を卒業する。1997年、知的障害者更生施設・社会福祉法人いきいき牧場に指導員として就職するが、リハビリテーションの重要性を感じて退職。1999年、山形県内の理学療法士養成学校に入学。病院で働きながら学費を捻出するが、2年生の時に学費支援が打ち切りとなり、理学療法士の道を断念。2001年、山形県内の公立小学校の教員となる。2003年、医療ベンチャー企業F E Sに入社。半田康延教授と足こぎ車いす初号機に出会う。2008年、東北大学発ベンチャー企業T E S Sを設立し、足こぎ車いすの製品化に向けて奔走する。2009年、足こぎ車いす「プロファンド」の販売を開始し、現在に至る。今後もプロファンドを進化させ、国内だけでなく、欧米やアジアへの展開を視野に入れている。

Japan Venture Awards 2014 経済産業大臣賞受賞。EY Entrepreneur Of The Year 2014 Japan チャレンジング・スピリット部門日本代表候補。